

---

## 3.地域懇談会報告書

---

# (1) 地域懇談会の概要

## 目的

第4次日高市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に当たって、直接地域の方々から地域の課題やニーズについて、意見を伺うため、地域懇談会を開催しました。

## 開催日程

※各回とも令和5年開催

学校区名	会場名	開催日※	開催時間
高萩学校区	高萩公民館	1月24日(火)	19:00~21:00
高麗学校区	高麗公民館	1月25日(水)	
高根学校区	高麗川南公民館	1月26日(木)	
武蔵台学校区	武蔵台公民館	1月31日(火)	
高麗川学校区	高麗川公民館	2月1日(水)	
高萩北学校区	高萩北公民館	3月2日(木)	

## 対象

- 地域住民の方で関心のある人
- 関係者（区長・自治会長、民生委員・児童委員、地域ボランティア等）

## 方法


- 市生活福祉課から地域福祉並びに地域福祉計画等に関する基本的な考え方について説明を実施しました。
- その後、参加者を4~8人程度のグループに分けて、グループ検討を実施しました。  
討議のテーマ（前半：地域の課題について、後半：課題解決に向けた取組・提案）
- グループごとに検討、協議した内容を全体で報告し、共有しました。

## 備考

地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定を一体的に進める観点から、日高市生活福祉課と日高市社会福祉協議会の共催により実施しました。


## (2) 各学区の内容

### ○高萩学区

開催日		令和5年1月24日(火) 19時00分～21時00分	会場	高萩公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者	民生委員・児童委員 8名		
	オブザーバ	高萩地域包括支援センター 1名		
	事務局	市役所 3名 社会福祉協議会 4名		
意見の 要旨	<b>【高齢者】</b>			
	<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢のため役員ができないとのことで、自治会を抜ける高齢者が多い。</li> <li>・ 独居高齢者が亡くなったときの連絡先が分からない。</li> <li>・ ゴミ出しが大変である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近所の人に頼んでゴミ出しや簡単な作業をしてもらう。</li> </ul>		
	<b>【地域】</b>			
	<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会に入っていないお宅には回覧板が回らないので、情報が行き届かない。</li> <li>・ 空き家が増えている。</li> <li>・ 自治会の新規加入者が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家対策のために不動産会社や建築会社と連携をとる。</li> <li>・ 引っ越してきた段階で、自治会に入る理由やメリットを説明する。</li> </ul>			
<b>【移動】</b>				
<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通手段が少なく免許返納ができない。</li> <li>・ 介護タクシーが利用しづらい。</li> <li>・ 買い物する場所が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政と移送システムの構築をする。</li> </ul>			
<b>【環境】</b>				
<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不法投棄が多発している。</li> <li>・ 整備ができていない山林がある。</li> <li>・ 光害、香害で体調を崩す人がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不法投棄が多発している箇所への防犯カメラの設置を要請している。</li> </ul>			

<b>【子ども、子育て】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抜け道になっている通学路が危ない。</li> <li>・同じ区内だが、学校区の関係で民生委員の担当区外になっている班がある。</li> <li>・自治会に入っていないので、子ども会に入っていない児童がいた。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の整備、見守りを行う。</li> <li>・児童が子ども会に所属できるように、自治会が柔軟に対応する。</li> </ul>
<b>【その他】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時の避難行動要支援者に対するの対応方法が分からない。</li> <li>・おたすけ隊のような団体を発足しようと思っても、協力者が少ない、お金がかかると利用できない人も出てくる。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b>

## ○高麗学校区

開催日		令和5年1月25日(水) 19時00分～21時00分	会場	高麗公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者	民生委員・児童委員、区長、一般 13名		
	オブザーバ	高麗地域包括支援センター 1名		
	事務局	市役所 3名 社会福祉協議会 4名		
意見の 要旨	<b>【高齢者】</b>			
	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家で介護者の負担が大きい。</li> <li>・高齢で身寄りのない単身世帯が増えている、通院が難しい。</li> <li>・高齢で役員を受け入れられない。</li> <li>・一人暮らしの高齢者の情報（困り事）が届かない。</li> <li>・独居の高齢者が、市道にかかる草木の管理が出来ていない。</li> <li>・イベントの開催が難しい。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りを兼ねて、単身世帯の定期的な訪問を行う。</li> <li>・介護保険サービスの利用にあたり、包括、ケアマネージャーへ相談する。</li> <li>・コミュニケーションが一番の協力し合える体制のため、自治会の活動が重要。</li> <li>・散歩道の確保をする。</li> <li>・シルバー人材センターの項目を増やす。</li> </ul>		
意見の 要旨	<b>【地域】</b>			
	<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働いている人が多いため、日中の人口が少ない。働き世代が、地域活動に参加出来ていない。</li> <li>・核家族化が進んでいて、世代間の交流が少ない。</li> <li>・コロナでイベント等が少ないため、人との交流が少なく、地域の問題が上がってこない。上がったとしても共有が出来ない。</li> <li>・区長のなり手がいない。</li> <li>・おたすけ隊などのボランティアが周知されていない。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人が気軽に集まれるイベントや場所を作る。</li> <li>・色々な世代の交流を増やす。</li> <li>・ボランティア活動の良さややりがいを広げ、担い手を広げていく。</li> </ul>		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入した人が、区（自治会）に入会しない。</li> <li>・人に頼りたくない、援助の拒否がある。</li> <li>・空地、空き畑、空き家</li> </ul>	
<b>【子ども】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の地域離れ。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数少ない子どもたちに目を向ける。</li> </ul>
<b>【若者】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代が減っている、働き手が少ない。</li> <li>・若い世代の中でも、活動をしたい人がいるが、情報を知らない可能性がある。</li> <li>・地域への思いが薄い。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の就労企業、施設など、働く場所の確保をする。</li> <li>・若者の就労の意向の把握、企業の援助を手厚くする。</li> <li>・情報が届けば人が集まるかもしれないので、広報ひだまり等の情報誌の周知が必要。</li> </ul>
<b>【移動】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関が少なく、車での移動でないと不便。</li> <li>・近くに買い物ができる場所がない。</li> <li>・自動車免許を返納したら、移動手段がなくなる。</li> <li>・医療機関が遠い。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おたすけ隊の利用を促進する。</li> <li>・市内に、人が集まれるショッピングセンターを建設する。</li> <li>・市内循環バスを運行する。</li> </ul>
<b>【その他】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報扱いが厳しくなり、親切とおせっかいの境目が難しい。</li> <li>・使わない校舎の再利用。</li> <li>・本日の懇談会への出席者が少ない。</li> <li>・個々で趣味を発信する。</li> <li>・行政が協働に積極的ではない。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流をする。</li> <li>・趣味の展示会などを開催して、人が集まれる場所を作る。</li> </ul>


## ○高根学校区

開催日		令和5年1月26日(木) 19時00分～21時00分	会場	高麗川南公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者	区長、民生委員・児童委員、一般 6名		
	オブザーバ	高麗川地域包括支援センター1名		
	事務局	市役所 3名 社会福祉協議会 4名		
意見の 要旨	<b>【高齢者】</b>			
	<b>課題</b>		<b>取組や解決法</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者の活用。</li> <li>・いろんな特技や技能を持った人が住んでいるが地域に還元されていない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中の「出番」を増やせるような取組をつくる。</li> </ul>	
	<b>【地域】</b>			
<b>課題</b>		<b>取組や解決法</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口を今後いかに増やしていくか。</li> <li>・空き家問題。</li> <li>・遠足の聖地だが、宿泊できる場所がない。</li> <li>・民生委員の負担が大きく、なり手がないため、民生委員の人数が足りない。よって、地域で困っている人の相談先がない。</li> <li>・地域の活性化。</li> <li>・自治会の役が回ってくるため、自治会を抜ける人も多い。担い手不足。また、アパート・マンションに居住する人は自治会に入らない人が多く、民生委員としての把握が困難。</li> <li>・転入してきたが、友人がいない。</li> <li>・閉鎖的な自治会もある。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を有効活用し、転入者には市が空き家のリフォームなど補填。</li> <li>・遠足に来た際に、郷土料理や体験などが出来るような仕組みを作り、お金を使ってもらえるようにする。高齢者が郷土料理などに協力。</li> <li>・新しく転居してきた人や地域の人の相談の場・つなぐ場として、たかねサロンを活用。</li> <li>・男性の居場所づくりのために、男性向けサロンの実施。</li> <li>・地域行事などをカラオケ等の行事型から体操などの機能型へ移行。規模を縮小し、小さな集まりの機会を増やす。</li> <li>・学校や子どもたちにもっと地域に出てきてもらい、相互的に地域全体で見守りができる形を作る。</li> </ul>		

<b>【移動】</b>	
<b>課題</b> ・買い物難民。買い物や役場までの足がなく大変。 ・デマンド交通問題。近隣市町村では導入が進んでいるが、日高市では過去に失敗している。	<b>取組や解決法</b> ・東急こまがわの場合、買い物帰りは荷物を持って坂道を上ることになり、高齢者にとって大変。自治会で帰りだけでもヤオコー等からの専用交通を検討。 ・地域おたすけ隊では通院のための移送利用も多い。おたすけ隊ではできない相乗り支援ができるような仕組みがあれば便利。
<b>【環境】</b>	
<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>
<b>【子ども、子育て】</b>	
<b>課題</b> ・子どもたちに地域でも役割があると良い。	<b>取組や解決法</b> ・地域の課題の解決に中学生が関わることができるなどの取組を促す。
<b>【その他】</b>	
<b>課題</b> ・小中学校統廃合に伴い、どのように学校を活用していくか。	<b>取組や解決法</b>




## ○武蔵台学校区

開催日		令和5年1月31日(火) 19時00分～21時00分	会場	武蔵台公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者	区長、民生委員・児童委員、一般 22名		
	オブザーバ	高麗地域包括支援センター 1名		
	事務局	市役所 3名 社会福祉協議会 4名		
意見の 要旨	<b>【高齢者】</b>			
	<b>課題</b> ・自治会員、班長の担い手が少ない。 ・高齢者の相談相手がいない。 ・認知症の人が増加している。 ・ゴミ出し、庭の手入れ、車を使った移動が困難な人が増加している。 ・独居の高齢者が増加している。		<b>取組や解決法</b> ・小中高生に地域への関心を持ってもらえるように、福祉教育等で地域学習を行う。→地域の担い手の育成 ・小中学生の登校時に、ゴミ出しの協力を依頼する。おたすけ隊を活用する。 ・住み慣れた地域で暮らし続けられるように、空き家を活用して高齢者のシェアハウスのようなものを地域につくる。	
	<b>【地域】</b>			
	<b>課題</b> ・自治会の維持が困難になってきている。 ・気軽に集まれる場所が少ない。		<b>取組や解決法</b> ・中学生に地域の会議への出席を促し、意見を聞く。 ・外出をするきっかけとなる、楽しい場所、イベントをつくる。	
	<b>【子ども】</b>			
	<b>課題</b> ・世代間の交流ができていない。 ・子ども、子育て世代の地域活動への参加が少ない。		<b>取組や解決法</b> ・学習支援や子ども食堂など子どもが集まるイベントを利用し世代間交流を促進する。 ・若い世代にも役割を設けて活動に参加してもらう。	


<b>【空き家】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯面や火災が心配である。</li> <li>・ 活用したくても権利の問題で使用許可が下りづらい。</li> <li>・ 空き家の草木や雑草が民家に入ってしまう。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども食堂の会場として利用する。</li> <li>・ 子育て世代を呼び込むために、農地付き住宅を売り出す等工夫をする。</li> <li>・ カフェなどに改装して、子育て世代の雇用を創出する。</li> <li>・ 災害時の避難所、仮住まいとして利用できるように整備をする。</li> <li>・ スケボーなどができる場所として整備し、人が集まるきっかけの場として活用する。</li> </ul>
<b>【移動】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通機関が少ない。</li> <li>・ 坂道、歩道の段差により、車いす利用者の移動が困難である。</li> <li>・ 買い物、通院時の移動が不便である。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政と移送システムの構築を行う。</li> <li>・ 住民が声を挙げて、近隣のスーパーにサテライト出店を依頼する。</li> <li>・ 地域のスーパーに根付いてもらうために、住民同士で利用の呼びかけを行う。</li> </ul>
<b>【その他】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降雪時の雪かきが非常に大変である。</li> <li>・ 外出の機会が少なく、家にいることが多くなってしまう人がいる。</li> <li>・ 個人情報の壁があり、入手できる情報に限界がある。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きい道については、行政に除雪を依頼する。各家庭については、近所の若い世代に手伝ってもらおう。</li> <li>・ 日頃から見守り、声掛けを行う。外出機会を創出する。</li> </ul>

## ○高麗川学校区

開催日		令和5年2月1日(水) 19時00分～21時00分	会場	高麗川公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者	区長、民生委員・児童委員、一般 16名		
	オブザーバ	高麗川地域包括支援センター1名		
	事務局	市役所 3名 社会福祉協議会 4名		
意見の 要旨	【高齢者】			
	課題	取組や解決法		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢化が著しい。地域で高齢者の意見に偏ってしまうことがある。</li> </ul>			
	【地域】			
課題	取組や解決法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や市に魅力が少ない。人を引き寄せるイベントや住みたいと思わせることがないと子どもは増えない。</li> <li>・昔からの住民と転居してきた住民に壁があり、コミュニケーションが取れていない。比較的新しい住民は、地域の集いに入り込めず、つながりを持っていない。全体的な地域内の関わりの薄さ。</li> <li>・役員の負担が理由で、自治会の未加入や退会が増えていて、役員の担い手が不足している。高齢世帯や要介護ありの人の班長問題もある。</li> <li>・地域で順々に1年交代で自治会の役員を担当しているが、継続できる人がおらず、リーダー的存在のなり手がいない。そのため、世代間の情報伝達もできなくなっている。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で自治会などの行事は減っているが、役員の仕事量の負担は変わっていない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育の導入により廃校になった校舎を食堂や地域のイベントなどで活用。</li> <li>・防災訓練など学校での行事と地域での行事を一体化させることで世代間の交流を図る。</li> <li>・子どもたちの顔を覚えてもらえるような地域イベントの実施。</li> <li>・自治会の意味・存在の共有。</li> <li>・横のつながりを持ち、同じ意識を持つように考える。</li> <li>・自治会に関して、協力者を募り、既存のものを変えていく時期ではないか。変えていくにも、任期の短さや働き盛りの世代には負担が大きいことから役員の仕事をスリム化。誰でも区長ができるような仕組みづくり。</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代交代がない。市街化調整区域は家を建てることができず世帯が増えない。世帯数が少ないと役員が回ってくるのも早く、選任の難しさがある。</li> <li>・民生委員のなり手がいない。担い手不足。</li> </ul>	
<b>【移動】</b>		
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の外出。日常的に出歩くことに不便がある。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環バスではなく、デマンド型のワゴン車など小回りの利く方法の導入。</li> </ul>
<b>【環境】</b>		
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの不法投棄。</li> <li>・空き家問題や雑草</li> </ul>	<b>取組や解決法</b>
<b>【子ども、子育て】</b>		
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の進行。子ども会の存続が危うくなり、親同士のコミュニケーションも不足しつつある。</li> <li>・地区内の子どもの多くが他の学校区の学校に通うことで、把握や連絡ができない。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b>
<b>【その他】</b>		
<b>課題</b>		<b>取組や解決法</b>

## ○高萩北学校区

開催日		令和5年3月2日(木) 19時00分～21時00分	会場	高萩北公民館
出席者 ※順不同 敬称略	参加者	区長、民生委員・児童委員、一般 19名		
	オブザーバ	高萩地域包括支援センター 1名		
	事務局	市役所 3名 社会福祉協議会 4名		
意見の 要旨	<b>【高齢者】</b>			
	<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居の高齢者が多く、見守りが必要な人が増えている。</li> <li>・ゴミ出しが大変な高齢者がいる。</li> <li>・自治会に入っていない地域の人の把握ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITを活用した見守り、連絡システムの構築を進める。</li> <li>・おたすけ隊を活用する。</li> </ul>		
	<b>【地域】</b>			
	<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会から抜きたいという人が増えている。未加入者が多い。</li> <li>・近所づきあいが希薄である。</li> <li>・役員、民生委員のなり手がいない。</li> <li>・自治会館の維持費は自治会員負担だが、使用している人は概ね限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に入るメリットを作る。</li> <li>・役員や班長については、定年制にする。</li> <li>・自治会役員業務、回覧等IT化を進める。</li> </ul>			
<b>【移動】</b>				
<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段が少ない。</li> <li>・スーパーや病院に行く手段が少ない。</li> <li>・タクシー券が活用できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーや病院を巡回するコミュニティバスのようなものを作る。</li> <li>・住民のニーズをしっかりと把握したうえで、システムを構築する。</li> </ul>			
<b>【環境】</b>				
<b>課題</b>	<b>取組や解決法</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が多い。</li> <li>・空き家の雑草や庭木の手入れができていない。</li> <li>・ゴミを道路に捨てる人がいる。</li> </ul>				

<b>【子ども、子育て】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り隊が高齢化している。</li> <li>・子どもの遊び場が少ない。</li> <li>・子ども会への加入者が減っている。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割を見直して負担を軽減する。</li> </ul>
<b>【その他】</b>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代交流できる場が無い。</li> <li>・どこに相談していいか分からない。</li> <li>・コロナ禍で認知症が進んだ。</li> <li>・外国人が転入してくるが、コミュニケーションが難しい。</li> </ul>	<b>取組や解決法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家や自治会館を活用する。</li> <li>・CSWの周知を行う。</li> </ul>

## (3) 総括

### ○各地域に共通して抽出された主な課題

- ・ 区・自治会などのコミュニティ活動、民生委員・児童委員などの担い手が不足、役員等の後継者問題。
- ・ 前回と比較して、地域で区・自治会に加入しない選択をする人や、脱会する人が増加し、自治組織の維持が危惧される。
- ・ コロナ禍による地域でのコミュニケーション機会の減少が、地域コミュニティに大きな影響を与えている。
- ・ 地域おたすけ隊など、地域のボランティアについては、担い手の高齢化が顕著であり、活動の継続性の確保が課題。
- ・ 総じて世代間の結びつき、つながりが弱く、次世代へ継承がどの分野でも課題。
- ・ 地域の高齢化に伴い、移動手段がなく外出に不便をきたしている。タクシー券等の配布にとどまらず、新たな公共交通対策への期待。
- ・ 少子高齢化が顕著となり、地域における課題が発生することが予見されていたにも関わらず、対策が打たれてこなかったことに無念さを感じる。

### ○各地域における主な課題

#### 【武蔵台学校区】

- ・ 高齢化が顕著であり、独居の問題と併せて地域での見守りや安否確認のニーズが高まっている。
- ・ 空き家が増えていて、防犯上、衛生上の心配がある。
- ・ 移動や買い物に不便さを感じている人が増えている。

#### 【高麗川学校区】

- ・ 住民の行事への参加が少なくなってきた、地域の活力が減退傾向にある。
- ・ 新旧住民間のコミュニケーションの機会が乏しく、地域全体としてのまとまりに欠けている。
- ・ 地域コミュニティの維持に欠かせない「担い手」と「リーダー」の不足が顕著である。

#### 【高麗学校区】

- ・ 地域の伝統と文化を守ってきた活動が、住民の高齢化により維持や継続が困難となっている。
- ・ 援助を必要とする人は少なからずいるが、他人のお世話になることに躊躇がある人も多い。
- ・ 世代間のギャップがあり、地域活動への参画につながらない。

### 【高根学校区】

- ・ 地域の住民や活動に関心が薄い人が多く、つながりが弱くなっている。
- ・ 民生委員のなり手がなく、ニーズの把握や問題への対応力が低下している。
- ・ 共働き世帯が多く、働く世代の地域活動への参加が低調である。

### 【高萩学校区】

- ・ 支援を必要とする人への具体的なサービスが少ないことが課題である。
- ・ 区や自治会への参加協力が低調となってきた。
- ・ 若い世代の地域に対する関心が希薄となっている。

### 【高萩北学校区】

- ・ 移動手段がなく、あっても資源が少ない（「タクシーがつかまりにくい」など）ことが課題。
- ・ 地域全体で高齢化が顕著となり、地域コミュニティの維持が課題となっている。
- ・ 家族構成が変化しており、地域における福祉ニーズが多様化している。

## ○まとめ

地域懇談会で話し合われた課題や取組内容等を踏まえ、地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定するとともに地区社会福祉協議会の設置や地域資源の開発、地域活動など具体的な取組を進めていく際の参考とします。

とりわけ、世代間のつながりの継承を意識した情報共有や、地域における協働の仕組づくりへの取組が喫緊の課題となっています。